

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	情報リテラシー	科 目 名	ビジネスアプリケーションⅡ	科目コード	T0020C1
配 当 期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単 位 数	1 単位
担当教員名	黒原 恵美	履修グループ	1E(SP)	授業方法	演習
実務経験の内容	流通系IT企業でシステムエンジニア、プログラマとしてPOSレジ開発部門に2年従事。顧客管理、商品管理などのローカル用データベースをAccessで作成していました。実務で使っていたデータベースの使用方法などを解説しながら実習していきます。				
学習一般目標	ビックデータ時代を迎え、様々な意思決定を行う上でデータに基づき合理的に判断することがますます重要になっています。本授業では、データを扱うデータベースソフトウェアとして比較的易しいAccessを用いて学習者がデータを扱うための基本的な考え方、その操作を学ぶことを目標とする。				
授業の概要 および学習上の助言	ビジネスシーンで重要なソースとなるデータベースについてしっかりと理解したうえで自由自在にデータを検索、クエリを使ってSQLの仕組みできるようになる。また、新規テーブルを作成し、リレーションシップの設定ができる。フォームやレポートを活用するための基礎能力を得る事ができる。この授業を機会にMOSのACCESS試験にも挑戦して欲しい。				
教科書および参考書	教科書：よくわかる Microsoft Access 2016 基礎				
履修に必要な予備知識や技能	前期のビジネスアプリケーションIの基礎知識を習得していることが望ましい。リレーションナル型データベース(RDB)やSQLの基礎知識があればなお良い。				
使 用 機 器	PC実習室				
使 用 ソ フ ト	Access 2016				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	Accessの基礎知識を修得し、Accessの特徴を説明することができる。			
	4	Accessの基本操作(テーブル、フォーム、クエリ、レポートの作成)を行うことができる。			
	4	リレーションシップを設定することによって、リレーションナル型データベース(RDB)の機能について理解することができる。			
	4	クエリを作成することによって、SQLの文法を理解することができる。			
	5	ビジネスアプリケーションIIの実習に意欲をもって取り組むことができる。			

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	※シラバスの説明 第1章 Access の基礎知識 第2章データベースの設計と作成	講義・実習	
第2回	第3章テーブルによるデータの格納① STEP 1～STEP3	講義・実習	
第3回	第3章テーブルによるデータの格納② STEP4～STEP5 <演習> 総合問題1：1.テーブルの作成	講義・実習	
第4回	第5章クエリによるデータの加工 <演習問題>Let's Try	講義・実習	
第5回	第7章クエリによるデータの抽出と集計	講義・実習	
第6回	<演習> 総合問題1：2.クエリの作成(講義・実習	
第7回	第6章フォームによるデータの入力① STEP1～STEP4	講義・実習	
第8回	第6章フォームによるデータの入力② STEP5～STEP6 <演習> 総合問題1：3.フォームの作成	講義・実習	
第9回	第8章レポートによるデータの印刷① STEP1～STEP3	講義・実習	
第10回	第8章レポートによるデータの印刷② STEP4～STEP7 <演習> 総合問題1：4.レポートの作成	講義・実習	
第11回	第9章便利な機能	講義・実習	
第12回	※Access 応用(アクションクエリー) ※プリント参照 (アクションクエリー)	講義・実習	
第13回	<演習> 総合問題2	実習	
第14回	<演習> 総合問題2継続	実習	